



「さすがな京都」
生きもの紹介

ヒヨドリ

このコラムでは、「さすがな京都」の敷地内で見かけた生きものを紹介します。今回は「ヒヨドリ」。



厳しかった寒さも緩み、桜のつぼみも日を追うごとに膨らんできました。

桜の花が満開となった頃に、花に顔を突っ込んで蜜を吸っているヒヨドリをご覧になったことがあるはず。ヒヨドリは、特に甘いものが好きようで、柿、びわ、みかんなどの果実はもちろん、ツバキや桜の花の蜜なども大好きなんです。食性は雑食で、昆虫も食べます。餌が少なくなると畑の作物を食い荒らすこともあるため、農村部では狩猟鳥に指定されています。

ボサボサ頭に茶色いホッペのヒヨドリ(このボサボサ頭のことを「冠羽」<かんう>といいます)。日本中で、どこでも一般的に見られる野鳥ですが、ヒヨドリの分布は、実はとても局地的で、日本と朝鮮半島の南部、台湾、フィリピン北部にしかいません。だから、このヒヨドリを見るために、わざわざイギリスやアメリカからやって来るバードウォッチャーもいるほど。世界的には珍しい(?)野鳥なんです。

かつては、秋になると越冬のために朝鮮半島から日本へ渡ってくる冬鳥でしたが、最近では1年をとおして国内で姿を見られる「留鳥」(りゅうちょう)となりました。名前の由来にもなっている「ヒーヨ、ヒーヨ」という鳴き声は、甲高く、都市部では騒音被害として報告されることもあるほどです。

3施設が無料シャトルバスでつながりました!!

さすがな京都 京エコロジーセンター 京都市青少年科学センター

3施設連携シャトルバス

event calendar

2022年イベントカレンダー

2月 February

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11 建国記念の日	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23 天皇誕生日	24	25	26	27
28						

3月 March

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21 春分の日	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■ 無料シャトルバス運行日 ● 当日受付イベント
 ■ 休館日 ★ 要事前申込イベント

各イベントの詳細は、「さすがな京都」HPやイベント案内チラシをご確認ください。

「さすがな京都」HPイベントカレンダーはこちら→

※イベントや工場見学などは、中止・内容変更を行う場合があります。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一定の制限を設けることがあります。

工場の自由見学について

「さすがな京都」開館日は、個人・グループを問わず予約なしで自由に見学ができます(10名以上の場合はできるだけご連絡ください)。解説員は付きませんが、希望者には見学者用のタブレットを貸与します。※タブレットの数に限りがあるため先着順となります。

団体予約方法

京都市内の小学校ほか、一般の団体(10名以上のグループ)に向けて、解説員がご案内するツアーを開催します。※団体見学は原則10名以上から受け付けます。9名以下のグループや個人の方は、定時ツアーや自由見学でご見学ください。

【予約方法】

1. 希望日の前日までに「さすがな京都」へ仮予約の電話(TEL:075-606-2548)
2. 「さすがな京都」のWEBサイト「工場見学予約」ページの「申込書ダウンロード」をクリック
3. 申込書に必要事項を記入の上、FAXかメールでさすがな京都に送付
※年度単位で予約受付します。現在、令和5年3月分までを受付中。

- ・開館時間:9:00~17:00(足湯は~16:30 天候・気温等により屋上を閉鎖することがあります)
- ・休館日:水曜日(水曜日が祝日の場合は翌平日)、年末年始(12月29日~31日、1月1日~1月3日)
- ・入館無料



無料シャトルバス

「竹田駅」・「中書島駅」・「横大路車庫前」から「さすがな京都」へ。青少年科学センター・京エコロジーセンターにも行ける3施設連携シャトルバスです!運行情報は、さすがな京都ホームページをご確認ください。

公共交通機関

アクセス

・京阪電車「中書島駅」または「淀駅」から市バス20号系統・京阪バス24A系統に乗車、「南横大路(さすがな京都前)」下車徒歩5分

・市営地下鉄・近鉄電車「竹田駅」東口から市バス81・105・南5・南8号系統に乗車、「横大路車庫前」下車徒歩20分

のりば・時刻表などくわしくはこちらから



※さすがな京都へは公共交通機関でお越しください。

京都市南部クリーンセンター環境学習施設



京都市伏見区横大路八反田29番地
TEL 075(606)2548 FAX 075(606)2549
info@sustaina-kyoto.jp
https://sustaina-kyoto.jp

(運営委託者:京都市南部クリーンセンター環境学習施設運営グループ)

さすがな京都だより

VOL.10

発行:令和4年3月

京都市南部クリーンセンター環境学習施設「さすがな京都」広報誌

さすがな京都でSDGsを

知ろう! 学ぼう! 体験しよう!

SDGsは、「2030年までに世界中で協力して達成しよう!」と掲げている国連による17の目標です。

この目標で特に大切なことは2つあります。

- ・「誰一人取り残されない」ようにすること。
- ・わたしたち一人ひとりが「じぶんごと」として意識を持って関わること。

「さすがな京都」では、皆さまが「知りたい!学びたい!体験したい!」と思っている意欲を受け止められるよう、多種多様なプログラムを用意してお待ちしております。今回は、「さすがな京都」で実際に行われている「SDGs達成に向けたプログラムおよび啓発活動」の一部をご紹介します!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

編集・発行



南部クリーンセンター工場見学

見学通路はいつでも自由に見て回ることができますが、事前予約不要の「工場見学定時ツアー」では、さすてなスタッフによる解説を受けながら回ることができます。疑問に思ったことも直接質問できるので、皆さまに好評です！（開催詳細はHPやお電話にてご確認ください。）

学びたい内容をセミナー可能で事前予約制の団体ツアーもごさいます。



中高生に関心の高い「海ごみとプラ」講座とツアー。



工場見学コースには、京都市南部を眺望できる展望台も。圧巻の景色。



未就学児向けのツアーも大好評。



大学生や社会人向けSDGs講座との組み合わせツアーも可。

SDGs主に関連する番号



子ども学習プログラム

土日祝日や夏休み等の学休期には毎日開催している子ども学習プログラム。工作・実験・観察・ゲーム等、親子で体験できる内容を揃えており、お子様よりも親御様のほうが熱中されることも。



ゴミラプロジェクト。お子様の赴くままに。



自然工房。あっという間の1時間。いつも大人気。



いきもの探偵団。いきもの「？」や「！」がいっぱい。



子ども科学教室。水素自動車にも試乗できて大人も夢中。



子ども発電所。電気を点けられるかな？



SDGsカードゲーム体験。親子でカードゲームをしながらSDGs達成のヒントを得ます。

SDGs主に関連する番号



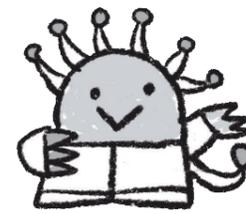
知ろう！ 学ぼう！ 体験しよう！

学習サポート

環境問題やSDGsを学びたい方々のために、さすてなスタッフがご質問等にお応えすることも可能です。事前にお問い合わせいただき、研究や夏休みの宿題等で活用いただいています。



エコラウンジには自習にも最適な図書がずらり。お子様向け絵本も充実。



学習講座

老若男女問わず、専門的な学びを得たい方のご用意している「さすてな講座」。環境問題の専門家等をお招きし、楽しくて分かりやすい講座を受けることができます。ご要望に合わせて、学校や企業様の学習や研修にお応えすることもできます。



京都市動物園とのコラボ講座。大人も子供もお話に熱中。

開催の様子。広いお部屋と複数のモニターで理解も進みます。



展示

さすてな京都の展示室には、環境について学べる展示がたくさん！期間限定で行われている「企画展示」では、その時ごとのテーマを掲げ、環境問題について考えるきっかけを得ることができます。



エントランスすぐにあるデジタルインフォメーションウォール。貴重な画像がたくさん。



京都市を取り巻く環境に関する数値がずらり。



催し

年に2度ほど、特別プログラム等を一齐に開催する「イベント(催し)」があります。

SDGsフェスタ。今年度は3/1~3/31にて開催します。



敷地内散策

「さすてな京都」の敷地内には、草花や生き物を観察できる場所もあります。それらを活用した参加型のプログラムも用意しています。



ピオトープを使った観察会開催の様子。



敷地内にある「アジサイ小径」は6月頃に大にぎわい。

SDGs主に関連する番号



SDGsの17の目標は、「環境が守られる→社会が成り立つ→経済が発展する」というウェディングケーキのような3段階で見立てられることもあります。これは、全ての土台に「環境」があり、その上に「社会」「経済」が成り立っていることを表しています。どれか一つだけ伸ばす、達成すればよいというものではありません。「さすてな京都」では、ごみ減量はもとより、生物多様性、再生可能エネルギー、環境面から見た地域の歴史など、重なり合う環境問題を扱っております。皆さまに丁寧に解説することで、SDGsの基本である「まずは自分の身の回りのできることから」行動を開始し、それを「ずっと続けていけることが大切なんだ」と気づいていただけるようなプログラムを目指しています。

※SDGsウェディングケーキ
ストックホルム・レジリエンス・センターが考案し、2016年に『EAT Food Forum』で、環境学者ヨハン・ロックストローム氏と環境経済学者バヴァン・スクデフ氏により、発表されました。図は同センターHP掲載より。

